

シグマ研究委員会

第1回医学用原子分子・原子核データワーキンググループ会合議事録

日 時：昭和57年8月30日 9時30分～12時

場 所：日本原子力研究所 東京本部 第7会議室

出席者：原田吉之助，中嶋 龍三，尾内 能夫，岩波 茂，喜多尾憲助，
白貝 彰宏，高田 信久，平岡 武，龍福 廣，中井 洋太，
沼宮内弼雄（欠席者：高橋 旦，伊藤 彬）

配布資料：「医学用核データ，原子分子データに関するアンケート調査報告書」
シグマ研究委員会（JAERI-memo 57-041）

議 事：1 経過報告

- 1) 原田委員長から，シグマ研究委員会及び原子分子研究委員会の構成と研究内容とについての概要説明と，医学用分子・原子核データワーキンググループの設立に到る経過説明とが行われた。
- 2) 喜多尾委員から配布資料について説明が行われた。
- 2 今後の進め方について
尾内ワーキンググループリーダーの司会により検討した結果，次の結論を得た。
 - 1) 分散している基礎データを組合わせた実用的なデータセットの作成を検討する。
 - 2) 既存のデータ及びそれらのデータソースについてもチェックする。
 - 3) no data - no process という誤解を招かないように留意する。

4) 次の項目に関連するデータを収集する。

- i) 放射線測定器（電離箱，化学線量計，TLD等）
- ii) ファントム材料
- iii) 吸収線量評価
- iv) 放射線防護
- v) 診断・検査
- vi) 放射線発生装置の開発に必要なデータ
- vii) RI生産

5) 当面取上げる問題

上記項目に共通している阻止能，吸収係数，半減期について基礎データを洗い直してhandyなdata bookの作成を目指す。

以 上